

第1回湖南省総合計画審議会

議事要約

日時：令和6年7月31日（水）
午前10時～
場所：湖南省役所3階大会議室

1. 開会

2. 市長挨拶

●市長

皆様におかれましては、お忙しい中ご出席賜り、またこの度は審議会の委員をお引き受けいただき感謝申し上げます。

平成16年10月に旧甲西町と旧石部町が合併し、早いもので市制20周年を迎える。湖南省では、令和8年度以降の10年間を計画期間とする第三次の湖南省総合計画を今年度と来年度の2年をかけて策定していく。湖南省が今後直面する課題に対し、どのような施策でどのように対応して行くのか、審議会の皆様や市民の方々の意見をいただきながら実効性の高い計画にしていきたいと考えている。厳しく変わり続ける世の中において、長年にわたり市民一人一人がこの地で築き上げてきた財産を大切にしながら、未来の湖南省が描ければと考えている。

計画策定にご尽力いただく委員の皆様には、慎重なご議論をお願いすると共に、今後一層のご活躍を祈念し、簡単ではあるが挨拶とする。何卒よろしくお願いしたい。

3. 委嘱状交付式

4. 審議会委員および事務局の自己紹介

5. 湖南省総合計画審議会の運営について（資料1）

事務局より資料説明（省略）

- 1) 湖南省総合計画策定条例について
- 2) 湖南省総合計画審議会条例について

6. 会長、副会長の選出（会長挨拶）

会長、副会長の選出方法について委員に諮ったところ、委員より事務局案を提示するように提案がなされた。事務局から審議会条例に規定されている会長および副会長の役割などを踏まえた提案として、会長と副会長が推薦され、委員の多数の拍手を以って提案が承認された。

●会長挨拶

副会長と共にこれからの湖南省の未来を切り拓く総合計画および総合戦略のための会議の運営を進めて参りたい。

複数の自治体で総合計画の策定に携わる機会があるが、自治体によって様々なカラーがある。湖南省の審議会は、各界各層の代表の方々に、公募委員が加わって議論をするという形になっている。そこで、大事なお願いであるが、前回はコロナ禍ということもあり思うように会議が開催できず、また、会議時間に制限があるということで、自分の関連分野では発言するが、時間を慮って、分野が違くと発言を遠慮するなどの傾向があった。それではもったいない。せっかくこれだけのメンバーが一堂に会して審議するので、時間の許す限り皆様に発言いただけるよう、会長としては運営にまい進したい。皆様には分からないところについても率直に発言いただき、私達が作った計画だという思いで2年間で終わられるようにしたい。職員の方々も含めて、皆様のご協力をお願いする。

以上で挨拶と代えさせていただく。どうぞ、よろしく願います。

(以降、会長による会議の進行)

7. 諮問

●会長

総合計画は市長から諮問を受けて、それに対して我々が答申するという形を採っている。

それでは第三次湖南省総合計画の策定に関して市長から諮問を受けたいと思うのでよろしく願います。

●市長

湖南省では平成28年度からの10年間を計画期間とする第二次湖南省総合計画基本構想に掲げる将来像である「ずっとここに暮らしたい！ みんなで創ろう きらめき湖南」の実現に向けて、6つの目標を掲げて施策など実現に取り組んできた。こうした中、総合計画基本計画および総合戦略が令和7年度をもって計画期間が満了することから、これまでの取り組み状況や課題などを検証し、市民ニーズや社会状況の変化を踏まえながら、引き続き将来像の実現に向けたまちづくりを推進して行くことが必要である。このことから、令和8年度からの10年間、取り組むべき方向性を示す総合計画の策定について諮問し、審議していただくものである。

何卒、よろしく願います。

●会長

ただいま市長より策定について諮問があった。私達が答申に向けて審議するということを確かに承った。答申に持っていきたいと思うので、皆様、どうぞよろしく願います。

(市長退席)

8. 第三次湖南省市総合計画および第三期総合戦略の策定について

●会長

それでは、次第の「8. 第三次湖南省市総合計画および第三期総合戦略の策定について」ということで、本日は議題としては1)～4)までである。時間の都合もあり、1)、2)を合わせて説明をお願いします。

●事務局

1) 第三次湖南省市総合計画および第三期湖南省市総合戦略について(資料2)

2) 湖南省市の現況について(資料3)

資料説明

(省略)

●会長

ただ今、事務局から資料説明があった2つの議題、資料について、何か意見や質問はないか。人口に関してこのような資料が欲しいなどの要望などを含めて、何か意見があると今後の参考になるがいかかがか。

このような基本的な資料を基にして分析した上で計画づくりを進めている。審議会として、委員として必要だと思う追加の分析などがあれば、後日でも事務局にお問い合わせをいただいても結構である。

市長の諮問について審議を行うのがこの審議会の役割である。今回は、決を採るような内容の議題ではないが、審議と書かれている以上、委員の皆様からご意見をいただきながら進めていきたい。

何かないか。それでは、今回の資料2および資料3が、これからの審議会での議論や行政内部での検討の資料として使われるものとして適切であると承認を得られるものか、確認をしたい。

まず、資料2についてはどうか。承認いただける方は挙手をお願いしたい。

挙手多数

●会長

資料2は承認をいただいた。

次に、資料3についてはいかかがか。承認いただける方は挙手をお願いしたい。

挙手多数

●会長

資料3についても承認をいただいた。

皆様から承認をいただいたので、資料2および資料3は、今後の議論を進める上での資料として使っていくことになる。審議会の役割、性質上、形式的ではあるが、このような手続きで進めさせていただくことをご理解いただきたい。

それでは引き続き、3) 第二次湖南省市総合計画後期計画（現行計画）の実施状況について、事務局に説明をお願いします。

●事務局

3) 第二次湖南省市総合計画後期計画（現行計画）の実施状況について（資料4）

資料説明
（省略）

●会長

ただ今、事務局から資料の説明があったが、これについて意見、質問があればぜひ発言をお願いしたい。

まだ計画期間の最終年に達していないが、目標指標達成状況が▲なのに、施策進捗が◎になっていたり、あと2年で達成できるのか、◎は甘いのではないかなど、委員の皆様はいろいろと疑問に思うかもしれない。

自治体を含めて取り組みの進捗評価については、政府や専門家から数値目標を掲げて進捗管理するようにと盛んに言われるようになった。大きな政策の括りをこの指標で代表させて全体の進捗を把握することができるのか、という意見もあるかもしれない。

これまでの施策の進捗、達成状況を確認することも我々審議会の役割である。資料を熟読してもなかなか内容を理解することは難しいが、今の行政はこのようにして進捗状況を把握、管理しているということをご理解いただきたい。

いかがでしょうか。何かないか。

●副会長

総合評価の実施結果を説明していただいたが、総合評価は誰がどのようにしているのか。事務局が数字を見ながら判断しているのか、関係部署へのヒアリングを実施し、その結果に基づきまとめているのか。評価の仕方や基準はどのようになっているのか、差し支えない範囲で教えていただきたい。

●事務局

資料の4-1に全体的な総合評価の考え方を掲載している。ご質問の内容について補足説明させていただきます。

湖南省市では年度ごとに、各所管部局において施策実現のための事業計画を立案している。この施策にはこの事業といった具合に、1年後の年度末には、実施状況、達成度を所管部局で評価し、次年度の方向性を見直しなどに活かしている。実施計画とその評価資料は非常に膨大なものになってしまうため、今回の資料では全体を簡潔に取りまとめたものを提示している。各

部局においては事業をA～Dの4段階で評価しており、全体の平均をとって施策単位で取りまとめて評価している。

●会長

他に評価の方法や体制、中身についてご意見やご質問はないか。

各自治体も各国立大学法人も私立大学も自己評価を実施している。国立大学法人は非常に厳しい評価が求められており、計画通りにできて当たり前、5段階の1番上を取るのが非常に難しい評価となっている。私立大学は国立に比べればやや甘い評価で済んでいるようにも思う。行政も同じようなスタイルで評価を実施しており、広く一般化している。今後、この評価方法を発展させることはあるが、大幅に手法を変えることはないと思う。

このような方法で後に評価を行うことを考えると、総合計画において実施できないような目標を掲げることは難しい状況になっている。先ほど市長もおっしゃっていたように、実施、実現可能などということで、未来像としては夢を描くことはできるだろうが、我々としては実施、実現可能なもの、何年かで達成できるものを提案して計画を策定する必要がある。国立大学法人の場合、最初から高い目標数値を掲げてしまうと、達成できない。しかし反面、高い数値を掲げないと政府から補助金が出ないということになる。そのようなことも考慮しながらも、夢のある部分もどこかに感じる計画にするために、今後のご議論をお願いしたい。

他に何か質問や提案はないか。

今回はどうしても事務局からの説明が主になるが、現行計画の実施状況について承認の確認をさせていただきたい。承認いただける方は挙手をお願いしたい。

挙手多数

●会長

現段階での実施状況の評価について承認が得られた。

続いて、4番目、第三次湖南省総合計画に関する市民意向調査について、事務局から説明をお願いします。

●事務局

4) 第三次湖南省総合計画に関する市民意向調査(案)について(資料5)

資料説明

(省略)

●会長

ただ今の事務局から資料説明があったアンケート調査について意見、質問、あるいは提案などがあればお願いしたい。

●委員

アンケートについては良いと思うが、委員の皆様にもご意見をいただくことが大事だと思う。委員長からもあったが、わずかな時間の中では発言は少なくなると思う。例えば、各委員が所属する組織の会合の場などに事務局から出向いて意見を聞くなどしていただくと良いと思う。社会福祉協議会にはボランティア団体 700 人、71 団体をはじめ多くの構成員がおり、声をかけていただければ集めることもしたい。障がい者計画、地域福祉計画なども関係団体や当事者の意見を聞いているので、そのような機会を持っていただきたいと思う。

●会長

事務局としては、アンケート実施とは別でご意見いただくような場を持つことなどは想定しているのか。

●事務局

アンケート調査は選択肢を選ぶだけではなく、具体的な意見を聞く部分もある。様々なご意見を聞くことは重要だと考えている。アンケート結果は目的を達成する内容でないといけなないので、何でも聞きますという場の設定や全ての委員の皆様にとというのは難しいかもしれないが、別途個別にヒアリングをさせていただくなどフォローアップの機会をいただけるとありがたい。

●会長

資料 5-7 に、現在準備しているアンケートの設問の意図などが整理されている。赤い文字で書かれているものが新しい設問だと分かるようになっている。意図の欄には、「前回アンケートを踏襲」と書かれているものも多くある。アンケートでは、前回から踏襲して経年変化を把握することも一つの意味がある。踏襲している部分はあまり変えると経年変化を把握することが難しくなる。逆に言うと、赤い新しい設問は、今回きちんとつくっておかないと、次回以降に課題が残ることになる。デジタルに関する設問や属性の確認など、赤いところは重点的に点検しておいていただきたい。より答えやすい方法や情報提供など、皆様とお話ししていただいて、全てを盛り込むことは難しいかもしれないが、可能な必要な変更は柔軟に対応いただきたい。

この場での発言は難しいかもしれないが、アンケート実施までに事務局にご意見をいただければありがたい。他に何か質問、意見はないか。

●委員

素朴な質問で申し訳ないが、回収率が低いと感じるが、配布、回収方法はどのようにしているのか。可能であれば、この場に出席の各組織の代表の方にそれぞれの組織に配布、回収していただいて回収率をあげるということも考えられるのではないか。やはり無作為抽出というのが重要で、そういった方法は適切ではないのか。そのあたりを教えていただきたい。

●事務局

総合計画のアンケートは、幅広い世代から対象者を無作為抽出することが大切であるが、例えば、外国人居住者や介護が必要な方などについては回収率が低いと思われ、工夫して、答え

ていただくのを増やすことが重要と考えている。

アンケートに関する資料の終わりに前回の実施状況を記載してある。一般向けのアンケートは無作為抽出した方に郵送で配布、回収を行うが、QRコードからインターネット経由での回答もできるようにしたいと考えている。

●委員

Web、QRコードからインターネットでの回答は今回が初めてなのか。

●事務局

他のアンケートでは実施したことがあるが、総合計画のアンケートでは初めて実施する。

●会長

若い世代では、QRコードからインターネット経由での回答に慣れており、紙で回答するよりも一般的になっている。そのような回答の選択肢があることで若い世代の回収率が少しでも向上すると思う。何か、他にもアイデアがあればお聞かせ願いたいと思う。

先ほど説明があったが、母集団としての湖南市民全体のミニチュアをつくる必要があるので、特定の層や地域に偏るとアンケートとして使えなくなるため、どうしても無作為抽出、郵送での配布、回収が軸になると思う。

今後、気が付いた項目や質問内容があれば、事務局に意見をいただくということをお願いして、現段階でこのような制度設計でアンケートを実施することについてご承認いただけるか。

挙手多数

●会長

挙手多数でアンケート調査について承認いただいた。

以上で実質的な審議は終了した。

それでは次の「9. その他」ということで、事務局から会議日程などについて願います。

9. その他

●事務局

次回の審議会は、資料2のスケジュールにあるように、年明け1月頃の開催を予定している。アンケート調査や骨子・体系案の進捗状況について報告できるよう進めていきたいと考えているが、年明けのお忙しい時期でもあり、詳しい日程については会長とも相談の上、開催2ヶ月前にはお伝えできるようにしたい。皆様大変お世話になるが、引き続きご理解ご協力をよろしく願いたい。

●会長

次回までにアンケートやワークショップの最初の会が予定されているということで、市民から意見をいただくプロセスが開始しており、途中段階の報告がされると思う。

時間が空くが改めて日程調整がされるので皆様のご協力をお願いしたい。

他に何かあるか。よろしいか。

それでは審議会としての本日の議題については全て終了とし、事務局に進行をお返りする。

●事務局

会長、議事を進行いただき感謝申し上げます。

それでは閉会にあたり、副会長に挨拶をお願いします。

10. 閉会

●副会長

本日は月末の大変お忙しい中、また暑い中、審議会に出席いただき感謝申し上げます。この資料を見て、行政は施策に基づきいろいろと事業展開をしているということを改めて感じた。私達はその施策を我が事として捉えきれておらず、勉強することが大事であるように思う。いずれにしてもPDCAサイクルを回して、魅力あふれる湖南省、また、安全・安心な湖南省の実現のため、各委員様のお立場でご尽力、ご協力をお願いしたい。

本日は、感謝申し上げます。

●事務局

副会長感謝申し上げます。これをもって、第1回の審議会を終了する。

以上